

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立鳳中学校 A 棟校舎外壁塗装改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市伊勢丘六丁目 5 番 1 号に位置し、伊勢丘 46 号線に接しています。

工事期間中、2026 年 7 月 18 日（土）から 8 月 24 日（月）は夏休み、2026 年 12 月 24 日（木）から 2027 年 1 月 6 日（水）は冬休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、生徒が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

2 別途工事

LED 照明改修工事

3 留意事項

- (1) 8 月 25 日（火）から 2 学期が開始するため、それまでに渡り廊下 1 及び渡り廊下 2 の改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。
- (2) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (3) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (4) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出のうえ監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (5) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、生徒、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (6) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (7) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (8) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「その他がれき類、建設混合廃棄物、廃プラ」です。

4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。

- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実に行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後 14 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500 万以上	契約後 10 日以内	変更契約後 10 日以内	工事完成後 10 日以内

- (16) 本工事は、受注者希望により、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有し効率化を図る情報共有システムが利用できる工事です。利用を希望する場合の情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。

本工事は、受注者希望型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいません。本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て利用してください。その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとします。

福山市立鳳中学校A棟校舎外壁塗装改修工事

図 面 目 録	
図面番号	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 No-1
2	建築改修工事特記仕様書 No-2
3	建築改修工事特記仕様書 No-3
4	建築改修工事特記仕様書 No-4
5	建築改修工事特記仕様書 No-5
6	建築改修工事特記仕様書 No-6
7	敷地案内図・配置図
8	1階・2階平面図
9	3階・4階・R階平面図
10	立面図
11	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図・渡り廊下1断面図
12	附属棟(部室棟1、部室棟2、渡り廊下2、門扉)

福山市建設局建築部営繕課					発注	2026年 4月
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長	

工事名称		福山市立鳳中学校A棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称		表紙・図面目録	
縮尺率		図面No	
福山市建設局建築部営繕課		A1=100%	
		A2= 71%	
		A3= 50%	

7	○ 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) 																																																																																
	○ 下地調整	<p>塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]</p> <p>○ 図示による</p> <p>[7.2.3~7.2.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RA種 ・ RB種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ RB種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修	本部	※ R種	-	-	鉄鋼面	※ R種	-	-	垂鉛めっき鋼面	※ R種	-	-	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	-	-	モルタル、プaster面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	-	・ 行う ・ 行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種	-	-																																												
	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修																																																																														
	本部	※ R種	-	-																																																																														
	鉄鋼面	※ R種	-	-																																																																														
	垂鉛めっき鋼面	※ R種	-	-																																																																														
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	-	-																																																																														
	モルタル、プaster面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																														
	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																														
	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																														
せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種	-	-																																																																															
素地ごしらえ	<p>[7.3.2~7.3.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※ C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※ B種 ・ A種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプaster面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	種類	本部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種	鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種	鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種	垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	モルタル面及びプaster面	※ B種 ・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種	せっこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種																																																															
下地面等	種類																																																																																	
本部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種																																																																																	
鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種																																																																																	
鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種																																																																																	
垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																																																																																	
モルタル面及びプaster面	※ B種 ・ A種																																																																																	
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種																																																																																	
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種																																																																																	
せっこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種																																																																																	
○ 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2~7.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>As種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え掛り</td> <td>As種 ※ A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>As種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>※ Bs種 ・ As種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え掛り</td> <td>※ Bs種 ・ As種 ※ A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>※ Bs種 ・ As種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b) による。 ・ C種 (下地調整R種)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種類は表7.4.4)</td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ) ・ A種</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ) ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">垂鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種 ※ C種 その他 ※ B2種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G (工程の種類は表7.4.5)</td> <td>鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種 ※ A種</td> </tr> <tr> <td>規 其他 ※ B2種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>塗替え C種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種類は表7.4.6)</td> <td>鋼製建具等 C種 ※ A種</td> </tr> <tr> <td>規 其他 C種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>塗替え B2種 - 新規 B2種 -</td> </tr> </tbody> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP	塗替え	As種 ※ C種	錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	As種 ※ A種	新規見え隠れ	As種 ※ B種	塗替え	※ Bs種 ・ As種 ※ C種	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	※ Bs種 ・ As種 ※ A種	新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種 ※ B種	塗替え	7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b) による。 ・ C種 (下地調整R種)	DP (工程の種類は表7.4.4)	新規	7.4.2(1)(イ) ・ A種	新規	7.4.2(1)(イ) ・ A種	垂鉛めっき鋼面	SOP	鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種 ※ C種 その他 ※ B2種 ※ B種	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種 ※ A種	規 其他 ※ B2種 ※ B種	塗替え C種 ※ C種	DP (工程の種類は表7.4.6)	鋼製建具等 C種 ※ A種	規 其他 C種 ※ B種	新規	塗替え B2種 - 新規 B2種 -																																										
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																															
鉄鋼面	SOP	塗替え	As種 ※ C種																																																																															
	錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	As種 ※ A種																																																																															
		新規見え隠れ	As種 ※ B種																																																																															
		塗替え	※ Bs種 ・ As種 ※ C種																																																																															
	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	※ Bs種 ・ As種 ※ A種																																																																															
		新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種 ※ B種																																																																															
塗替え		7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b) による。 ・ C種 (下地調整R種)																																																																																
DP (工程の種類は表7.4.4)	新規	7.4.2(1)(イ) ・ A種																																																																																
	新規	7.4.2(1)(イ) ・ A種																																																																																
垂鉛めっき鋼面	SOP	鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種 ※ C種 その他 ※ B2種 ※ B種																																																																																
	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	鋼製建具等 ※ A2種 ・ B2種 ※ A種																																																																																
		規 其他 ※ B2種 ※ B種																																																																																
		塗替え C種 ※ C種																																																																																
	DP (工程の種類は表7.4.6)	鋼製建具等 C種 ※ A種																																																																																
		規 其他 C種 ※ B種																																																																																
新規	塗替え B2種 - 新規 B2種 -																																																																																	
○ 塗装	<p>[7.5.2~7.13.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">合成樹脂塗料ベイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装の種類 ※ 1種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>※ A種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>上塗り等級 (3) 級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)</td> <td>屋内の垂鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ウレタン樹脂ニス塗り (UC)</td> <td>屋内の垂鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ビグメントステイン塗り</td> <td>屋内の垂鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>屋内の垂鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしめ止め</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 改修標準仕様書表 7.9.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする <p>合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えのしめ止め</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 改修標準仕様書表 7.10.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする <p>クリヤラッカー塗り A種の工程 2 の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤: 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) <p>ウレタン樹脂ニス塗りの工程 1 の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する ・ 適用しない 	塗装の種類	塗装面	塗替え	新規	合成樹脂塗料ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種	木部屋内	※ B種	※ B種	塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種	・ 2種	鉄鋼面	※ B種	※ B種	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種	・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※ B種	※ B種	垂鉛めっき鋼面	※ A種	※ A種	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	○ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 (3) 級	-	-	上塗り等級 () 級	-	-	・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	屋内の木部	※ B種	※ A種	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種	・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種	・ ウレタン樹脂ニス塗り (UC)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	・ ビグメントステイン塗り	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	・ 木材保護塗料塗り (WP)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種
塗装の種類	塗装面	塗替え	新規																																																																															
合成樹脂塗料ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種																																																																															
	木部屋内	※ B種	※ B種																																																																															
塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種																																																																															
・ 2種	鉄鋼面	※ B種	※ B種																																																																															
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種																																																																															
・ クリヤラッカー塗り (CL)	鉄鋼面	※ B種	※ B種																																																																															
	垂鉛めっき鋼面	※ A種	※ A種																																																																															
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
	垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
○ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 (3) 級	-	-																																																																															
	上塗り等級 () 級	-	-																																																																															
・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	屋内の木部	※ B種	※ A種																																																																															
	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種																																																																															
・ つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種																																																																															
	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種																																																																															
・ ウレタン樹脂ニス塗り (UC)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種																																																																															
	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
・ ビグメントステイン塗り	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
・ 木材保護塗料塗り (WP)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															
	屋内の鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																															

8	項目	特記事項																					
	8	該当工事無しのため記載を省略																					
	9	石綿含有建材の除去工事	<p>[9.1.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示による 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																
		測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																		
		石綿含有建材の処理	<p>[9.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) 除去対象範囲 図示による 除去工法 ※ 改修標準仕様書 9.1.3 (2) (ア) による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 圓形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 																				
		石綿含有保温材等の除去	<p>[9.1.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 図示による 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ・ 圓形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 																				
石綿含有成形板等の除去		<p>[9.1.5]</p> <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 図示による 隔離養生 (負圧不要) 方法 図示による 足場 図示による 除去した石綿含有成形板等の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 																					
石綿含有仕上塗材の除去		<p>[9.1.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 図示による 除去工法 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ・ 汚泥としての処理 																					
外断熱改修工事	<p>[9.2.2]</p> <p>断熱材の種類</p> <p>断熱材の厚さ (mm)</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考																			
種類	防火性能	備考																					
既存外壁の処置	<p>[9.2.3]</p> <p>既存外壁仕上材の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり ・ なし <p>下地の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>欠損部の改修工法</p>																						
工法	<p>[9.2.4]</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>不陸等の下地調整</p> <p>断熱材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱材製造所の仕様による <p>外装材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外装材製造所の仕様による <p>通気層の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり (mm) ・ なし <p>外装材の外壁への取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による 																						

章	項目	特記事項																		
	断熱・防露改修工事	<p>[9.3.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ (mm) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 																		
	断熱材現場発泡工法	<p>[9.3.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の種類 ・ A種 1 ・ A種 1 H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ (mm) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 () 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 () 																		
	屋上緑化改修工事	<p>[9.4.2]</p> <p>材料及び地被類の種類等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>かん水装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する (種類) <p>既存保護層の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>新植した芝及び地被類の枯損償の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 引渡しの日から 1年 																		
	透水性アスファルト舗装改修工事	<p>[9.5.2]</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による 																		
	路床	<p>[9.5.3]</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 再生クラッシュラン</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 凍上抑制層</td> <td>・ クラッシュラン</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 切込み砂利</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>路床安定処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) <p>試験</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない 	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による	・ 再生クラッシュラン	・ 図示による	・ 凍上抑制層	・ クラッシュラン	・	・ 切込み砂利	・	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による	・	・
	種別	材料	厚さ (mm)																	
	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による																	
		・ 再生クラッシュラン	・ 図示による																	
	・ 凍上抑制層	・ クラッシュラン	・																	
・ 切込み砂利		・																		
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による																		
	・	・																		
路盤	<p>[9.5.4]</p> <p>路盤の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>路盤材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 																			
舗装の構成	<p>[9.5.5]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 著しい不陸がないもの <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない 																			
工事名称	福山市立嵐中学校A棟校舎外壁塗装改修工事																			
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-4																			
縮尺率	S = No scale																			
図面No	4																			
A1=100%	12																			
A2= 71%																				
A3= 50%																				



名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理																			
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]				B-1 打放し面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.5]				B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超 [4.2.6]				B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.6]				B-4 モルタル面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]				B-5 モルタル面樹脂部樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]			
改修前																									
改修後																									
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面・部分) ②水洗い (15Mpa程度) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面・部分) ②水洗い (15Mpa程度) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①ひび割れ部モルタルカッター切り ②モルタル療法 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)			
	A棟校舎設計数量: 0.0 m ² 渡り廊下設計数量: 0.0 m ²	A棟校舎設計数量: 24.4 m ² 渡り廊下設計数量: 7.3 m ²				設計数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0) m ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0) m ()内は単動ひび割れ数量を示す				設計数量: 0.0 m				設計数量: 0.0 m				設計数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0) m ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0) m ()内は単動ひび割れ数量を示す							

名称		B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm				C-1 打放し面鋼鉄筋部処理				C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理				D-1 モルタル面はつり			
改修前																	
改修後																	
工程	①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)	①ひび割れ部Uカット ②水洗い (15Mpa程度) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①鋼鉄筋周囲のはつり ②水洗い (15Mpa程度) ③水洗い (15Mpa程度) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④水洗い (15Mpa程度) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				①カッター縁切り ②浮き部はつり ③水洗い (15Mpa程度) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)			
	※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。	※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。				※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。				※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。				※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。			
	A棟校舎設計数量: 6.4 m ² 渡り廊下設計数量: 0.0 m ²	設計数量: 0.0 m				設計数量: 0.0 m				A棟校舎設計数量: 14.8 m ² 渡り廊下設計数量: 0.0 m				A棟校舎設計数量: 1.5 m ² 渡り廊下設計数量: 7.3 m ²			

名称		D 浮き部処理				D-2 アンカーピン部処理				D-3 アンカーピン部処理			
記号・仕様	D-2 モルタル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [4.3.11] D-2' タイル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [4.4.9]	D-3 モルタル面アンカーピン部全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.12] D-3' タイル面アンカーピン部全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.10]											
改修前													
改修後													
工程	①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15Mpa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。				①一般部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ●アンカーピン固定部				①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※D-3'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。			
	A棟校舎設計数量: ①一般部分: 【球状樹脂】 46.9 m ² 【球状樹脂】 0.0 m ² ②指定部分: 12.4 m ² ③峽幅部: 25.9 m ² 渡り廊下設計数量: ①一般部分: 【球状樹脂】 20 m ² 【球状樹脂】 0.0 m ² ②指定部分: 0.3 m ² ③峽幅部: 0.0 m ²	設計数量: ①一般部分: 0.0 m ² ②指定部分: 0.0 m ² ③峽幅部: 0.0 m				設計数量: ①一般部分: 0.0 m ² ②指定部分: 0.0 m ² ③峽幅部: 0.0 m				設計数量: ①一般部分: 0.0 m ² ②指定部分: 0.0 m ² ③峽幅部: 0.0 m			

名称		D 浮き部処理				D-4 アンカーピン部処理				D-5 アンカーピン部処理			
記号・仕様	D-4 モルタル面アンカーピン部全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.13] D-4' タイル面アンカーピン部全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.11]	D-5 モルタル面注入付アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [4.3.14] D-5' タイル面注入付アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [4.4.12]											
改修前													
改修後													
工程	①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑥注入部穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 ※D-5'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。				①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ●アンカーピン固定部 ●注入部				①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い (15Mpa程度) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。			
	A棟校舎設計数量: ①一般部分: 【球状樹脂】 46.9 m ² 【球状樹脂】 0.0 m ² ②指定部分: 12.4 m ² ③峽幅部: 25.9 m ² 渡り廊下設計数量: ①一般部分: 【球状樹脂】 20 m ² 【球状樹脂】 0.0 m ² ②指定部分: 0.3 m ² ③峽幅部: 0.0 m ²	設計数量: ①一般部分: 0.0 m ² ②指定部分: 0.0 m ² ③峽幅部: 0.0 m				設計数量: ①一般部分: 0.0 m ² ②指定部分: 0.0 m ² ③峽幅部: 0.0 m				設計数量: ①一般部分: 0.0 m ² ②指定部分: 0.0 m ² ③峽幅部: 0.0 m			

工事名称
福山市立風中学校A棟校舎外壁塗装改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-5

縮尺率
A1=100%
A2=71%
A3=50%

図面No
5/12

福山市建設局建築部営繕課

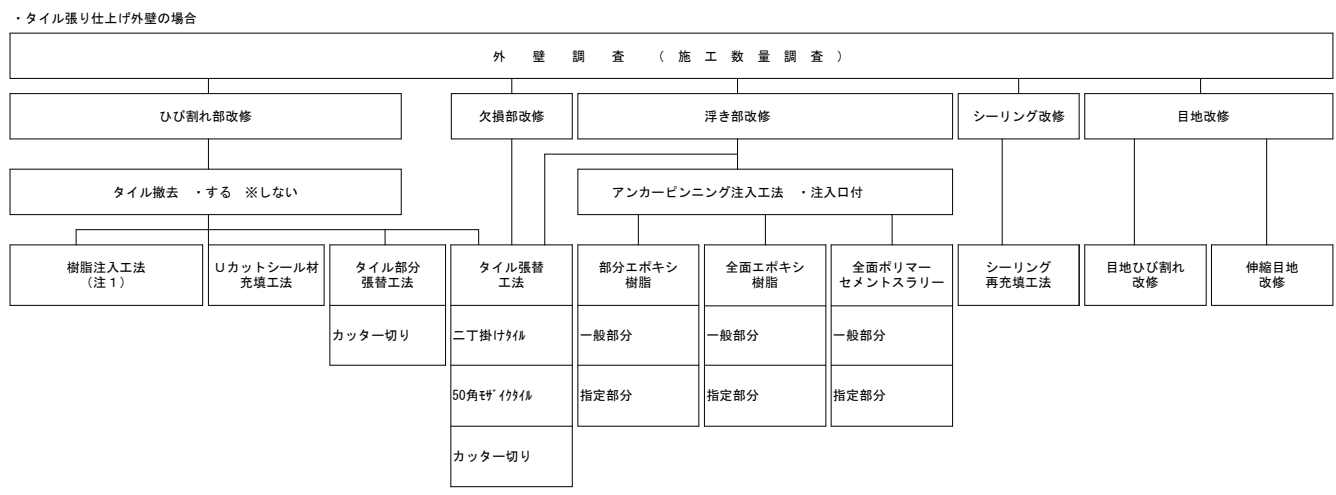
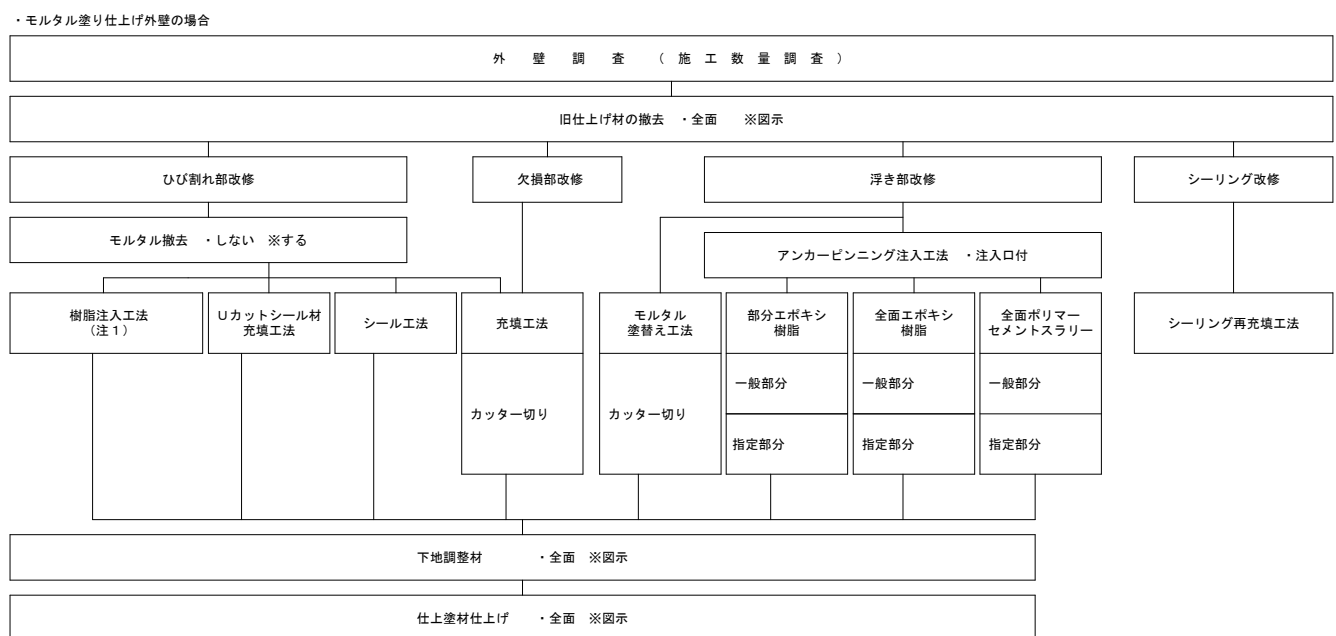
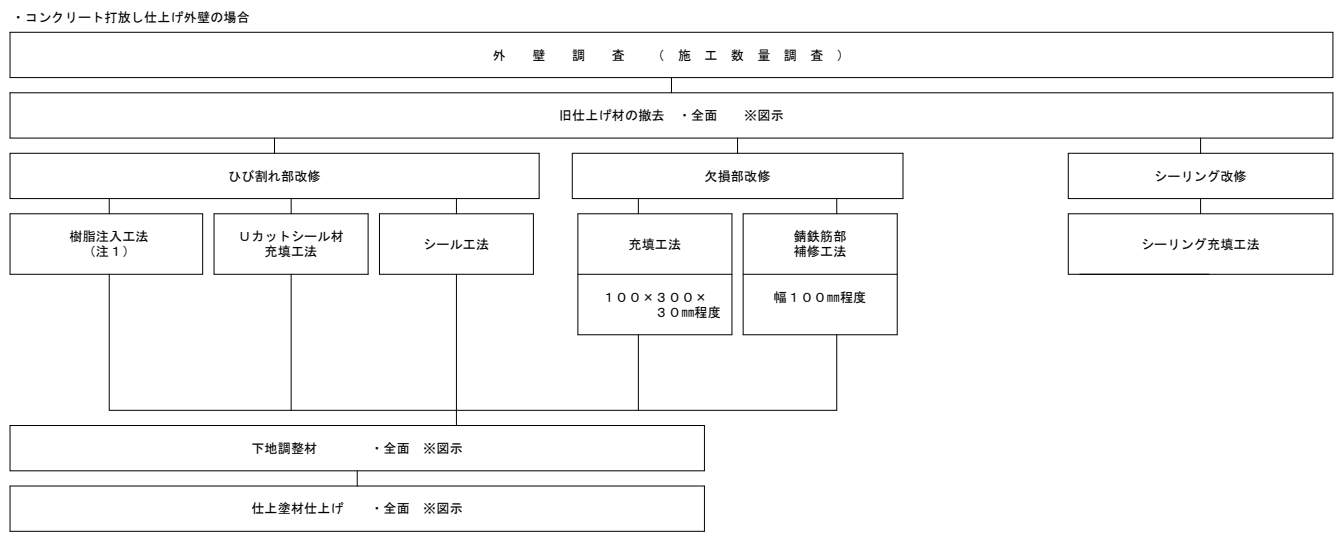
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.13]	
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15MPa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※D-6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m² ②指定部分： 0.0 m² ③破損部： 0.0 m</p>	

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法（小ロタイル以上） [4.4.15]
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し【※'ワセトパテ'】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し【※'ワセトパテ'】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15MPa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※D-7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m² ②指定部分： 0.0 m² ③破損部： 0.0 m</p>	

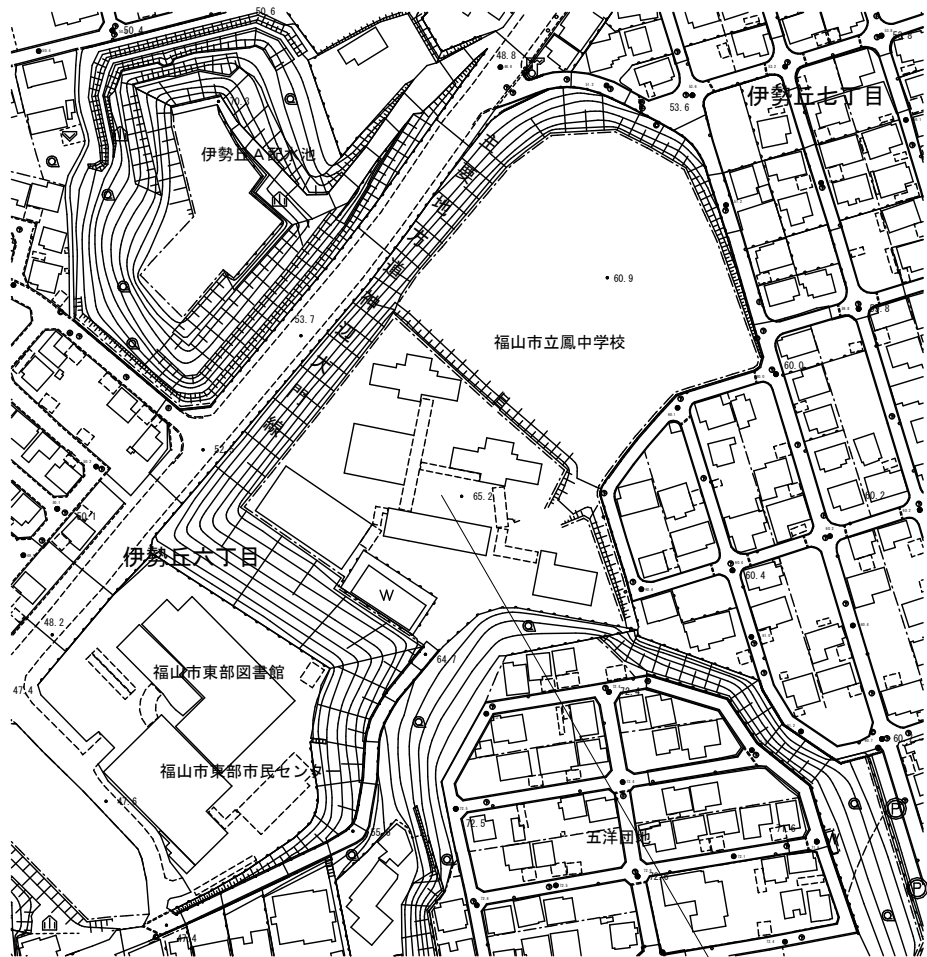
名称	E 欠損部処理		
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [4.2.8]	E-2 打放し面欠損部処理 [4.2.3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [4.3.3]
改修前			
改修後			
工程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②水洗い（15MPa程度） ③欠損部はつり部埋戻し【※'ワセトパテ'・※'砂樹脂パテ'】 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 設計数量：0.0 m</p> <p>①欠損部・錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③水洗い（15MPa程度） ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し【※'ワセトパテ'・※'砂樹脂パテ'】 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 設計数量：0.0 m</p> <p>①カッター縁切り（C-3） ②欠損部はつり等での整形 ③水洗い（15MPa程度） ④欠損部はつり部埋戻し【※'ワセトパテ'・※'砂樹脂パテ'】 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）（鉄筋の露出部がある場合はE-2による）</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む A種検査設計数量：0.1 m² 塗り部下1設計数量：0.1 m²</p>		

名称	F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法	
改修前		
改修後		
工程	<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け（L-30×15×2.0 ステンレスビス止φ450） ⑦シーリング打設（MS-2）</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p> <p>設計数量 ネット張り 22 m² 水切 20 m</p>	

外壁改修フロー図

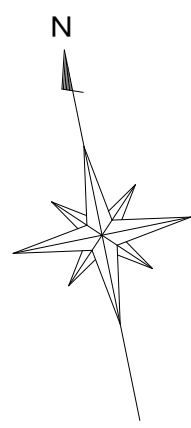


（注1）樹脂注入工法の工法の種類を示す



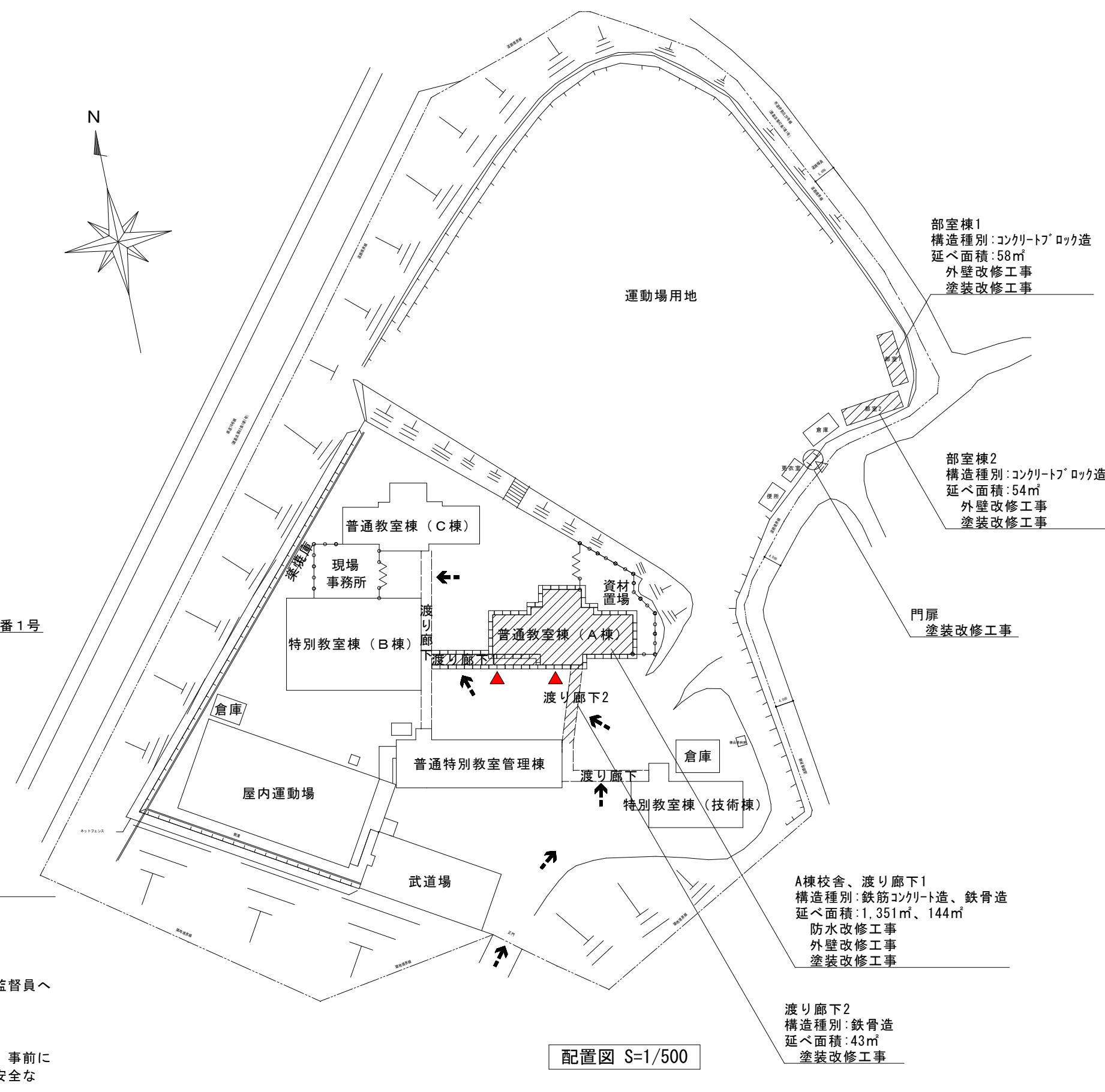
付近見取図 Non. Scale

工事場所: 福山市伊勢丘六丁目5番1号



凡例

記号	内容
	工事範囲(改修建物)
	仮囲い: 成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800
	工事車両進入路
	仮設足場
	児童・生徒出入口(足場部出入口養生)



部室棟1
構造種別: コンクリートブロック造
延べ面積: 58㎡
外壁改修工事
塗装改修工事

部室棟2
構造種別: コンクリートブロック造
延べ面積: 54㎡
外壁改修工事
塗装改修工事

門扉
塗装改修工事

A棟校舎、渡り廊下1
構造種別: 鉄筋コンクリート造、鉄骨造
延べ面積: 1,351㎡、144㎡
防水改修工事
外壁改修工事
塗装改修工事

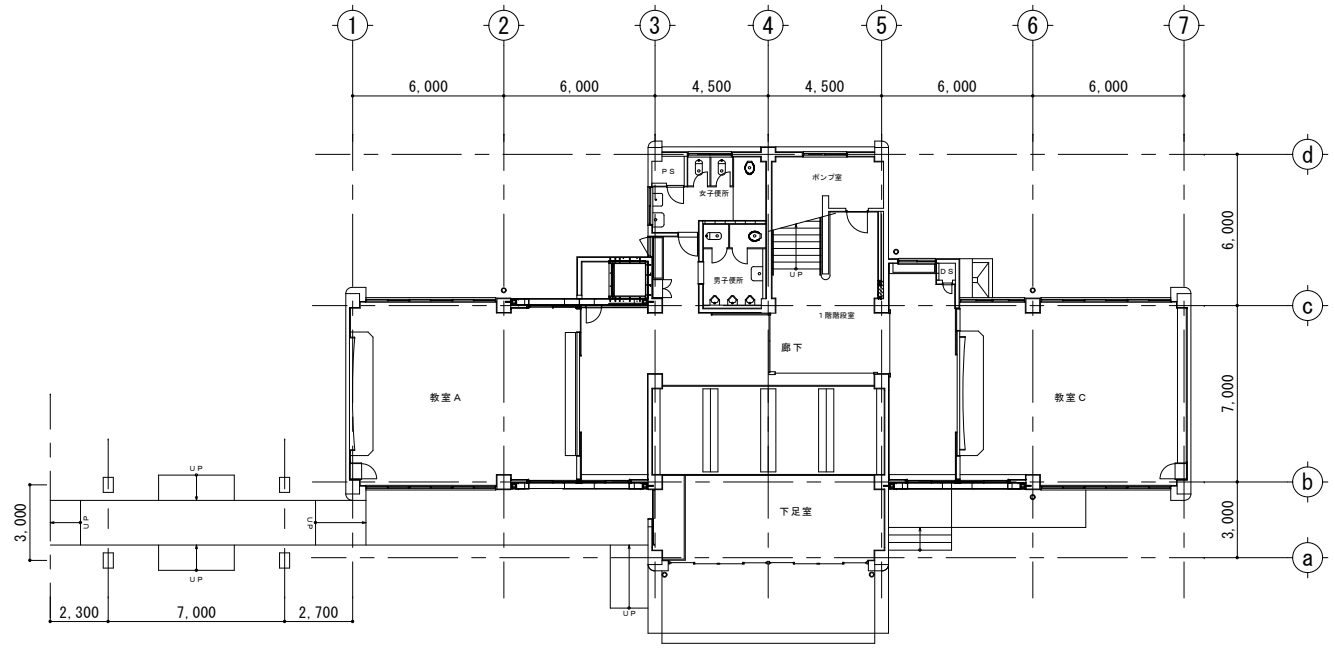
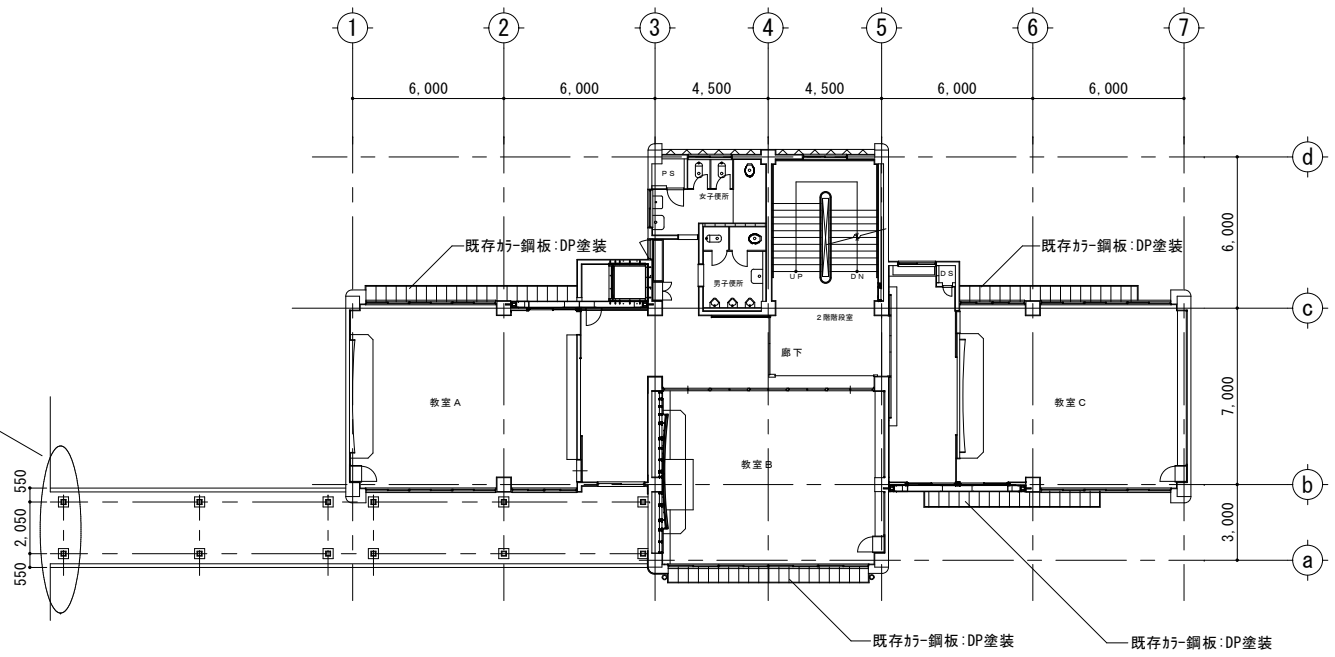
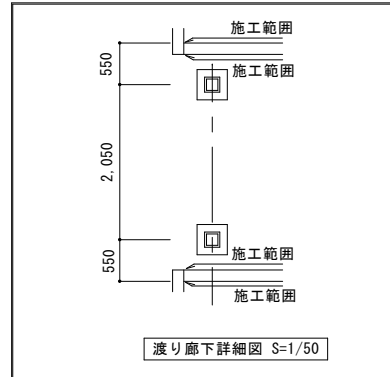
渡り廊下2
構造種別: 鉄骨造
延べ面積: 43㎡
塗装改修工事

配置図 S=1/500

施工条件

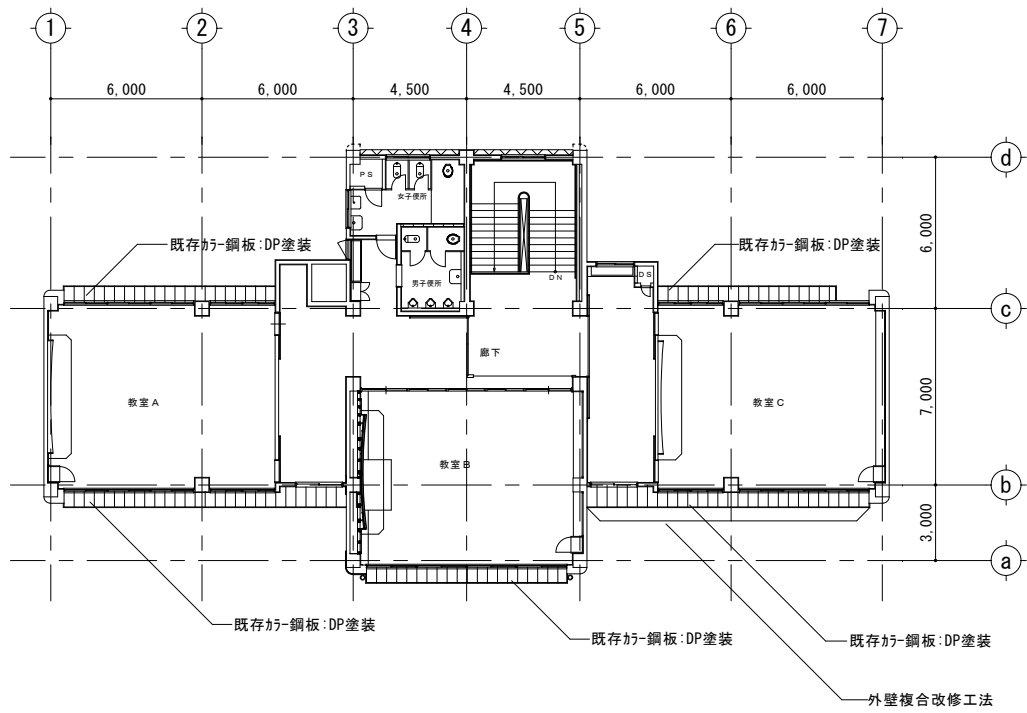
- ① 工事車両出入口及び機器・資材搬入口は南側出入口とする。
- ② 仮囲いに設ける工事車両出入口はキャスターゲート程度とし、通行時以外は常時閉鎖する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 既存施設を汚損させないよう養生等の対策を講ずること。既存部分を汚損した場合は速やかに監督員へ報告し、承諾を受けた後に復旧を行う。
- ⑤ 児童又は生徒の移動が集中する時間帯(登下校時等)は工事車両及び資材の搬出入を避ける。
- ⑥ 工事車両の通行部分は、工事中及び工事完成時に地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設計画は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に学校関係者及び監督員と協議を行うとともに詳細な現地調査・搬出入路等の検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設足場(先行足場、階段共)には、防護シートを張り埃等の飛散を防ぐ。
- ⑨ 工事関係者以外の者を工事エリアに侵入させないために、仮設足場1段目には金網等(H=1,800程度)を設置し、施錠付きの出入口を設ける。
- ⑩ 昇降所等の建物出入口には、落下防止措置を講ずる。
- ⑪ 仮設足場解体後は、主任技術者が現地確認を行い、必要に応じて美装及び現状復旧を行う。
- ⑫ エアコンを使用できるように室外機を養生する。
- ⑬ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りする。

工事名称	福山市立鳳中学校A棟校舎外壁塗装改修工事		
図面名称	敷地案内図・配置図	尺度	S = 1/500
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	A1=100%	図面No
		A2= 71%	7
		A3= 50%	12

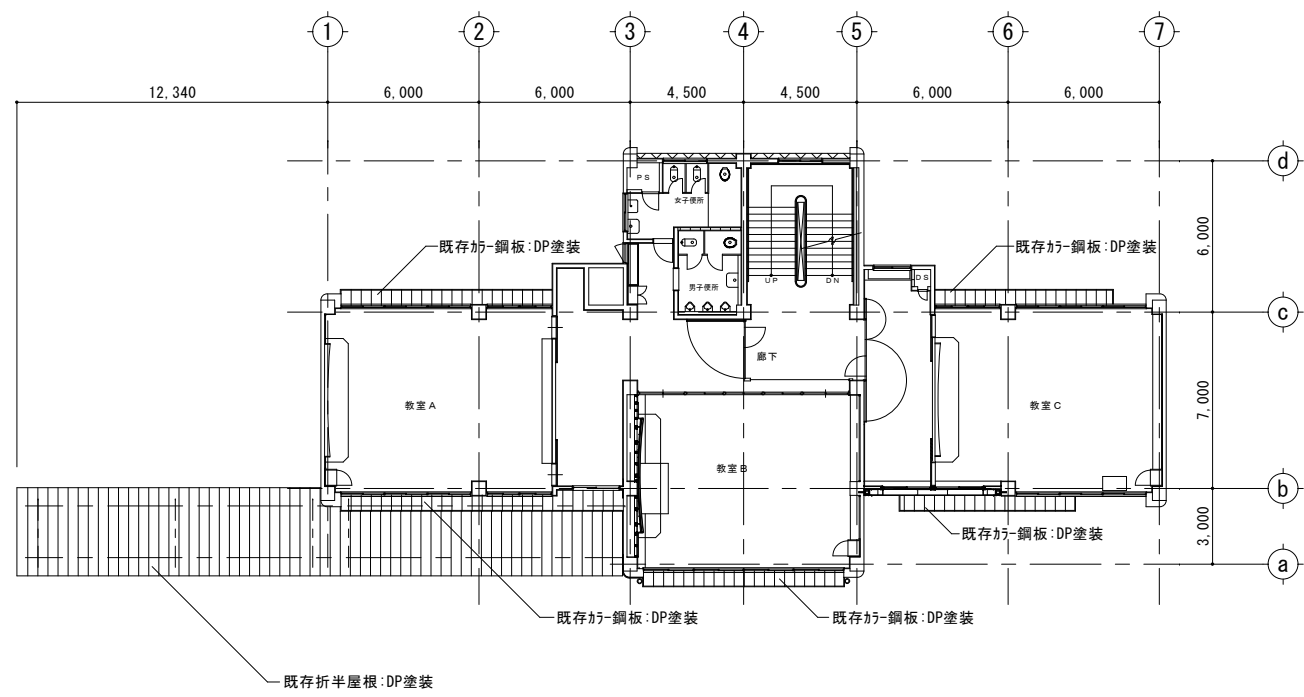


凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整(クワック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部:100mm程度巻き上げ ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場:水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系L-フィンシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) ◎ 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り・溝部:既存防水層撤去、クレン・清掃、水洗い、下地調 整(クワック処理共)の上 合成高分子系L-フィンシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部):7&ミ7&ク 145×65取付(シーリング仕舞)
既存	鋼管縦樋φ○ VP縦樋φ○
改修	既存撤去(金具共)の上 新VPφ○取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa [N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びJIS-C基準を満たす ものとする。

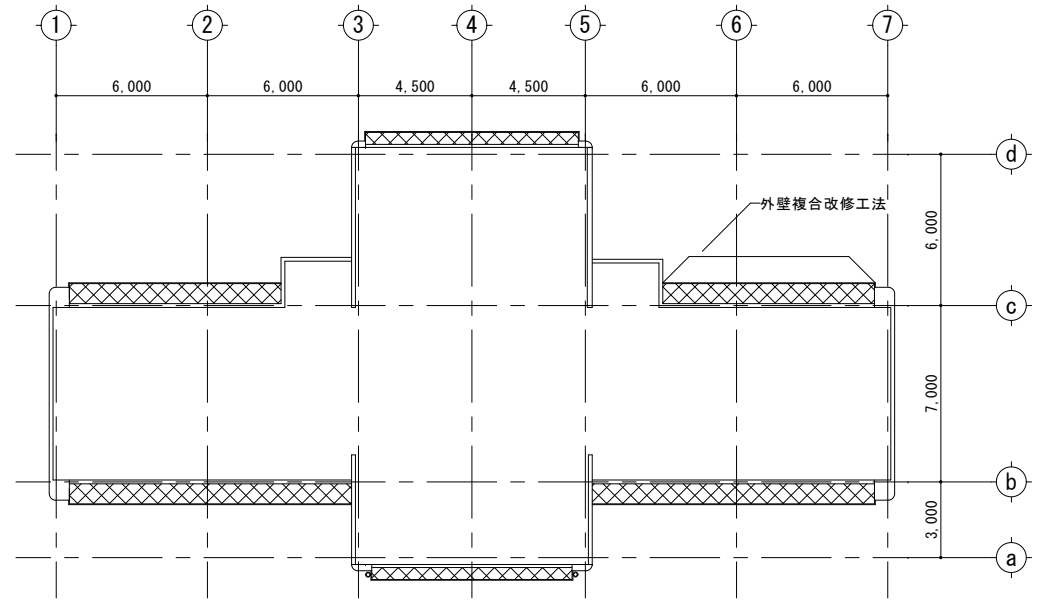
工事名称	福山市立風中学校A棟校舎外壁塗装改修工事		
図面名称	1階・2階平面図	尺度	S = 1/50 1/150
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No	8 / 12
	A1=100%	8	
	A2= 71%		
	A3= 50%		



4階平面図 S=1/150



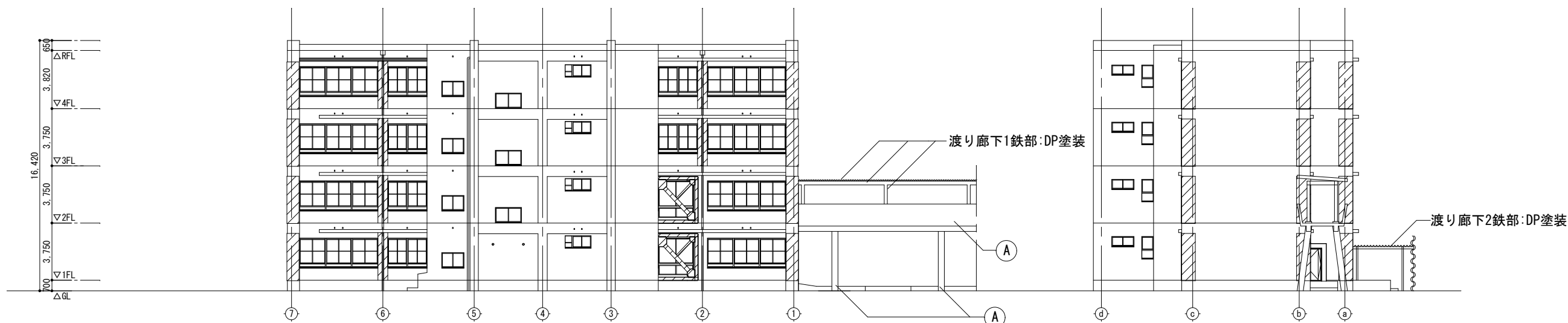
3階平面図 S=1/150



R階平面図 S=1/150

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整(クワック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部:100mm程度巻き上げ ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場:水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上 合成 高分子系L-フィンシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) ◎ 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去、クレーン清掃、水洗い、下地調 整(クワック処理共)の上 合成高分子系L-フィンシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部):7mm7ヶ #45×65取付(シーリング仕舞)
既存	鋼管縦樋φ○ VP縦樋φ○
改修	既存撤去(金具共)の上 加-VPφ○取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びJIS-C基準を満たす ものとする。

工事名称	福山市立風中学校A棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称	3階・4階・R階平面図	尺度 S = 1/150
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	9
	A2= 71%	12
	A3= 50%	

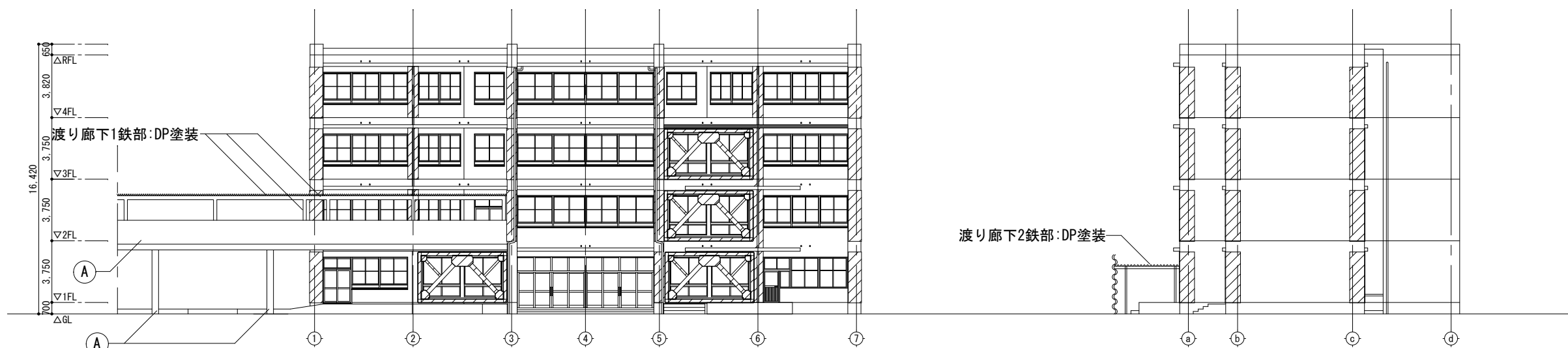


北側立面図 S=1/150

Ⓐ：外壁・軒裏全面
(斜線を除く)
縦樋：水洗い清掃のみ

西側立面図 S=1/150

Ⓐ：外壁・軒裏全面
(斜線を除く)



南側立面図 S=1/150

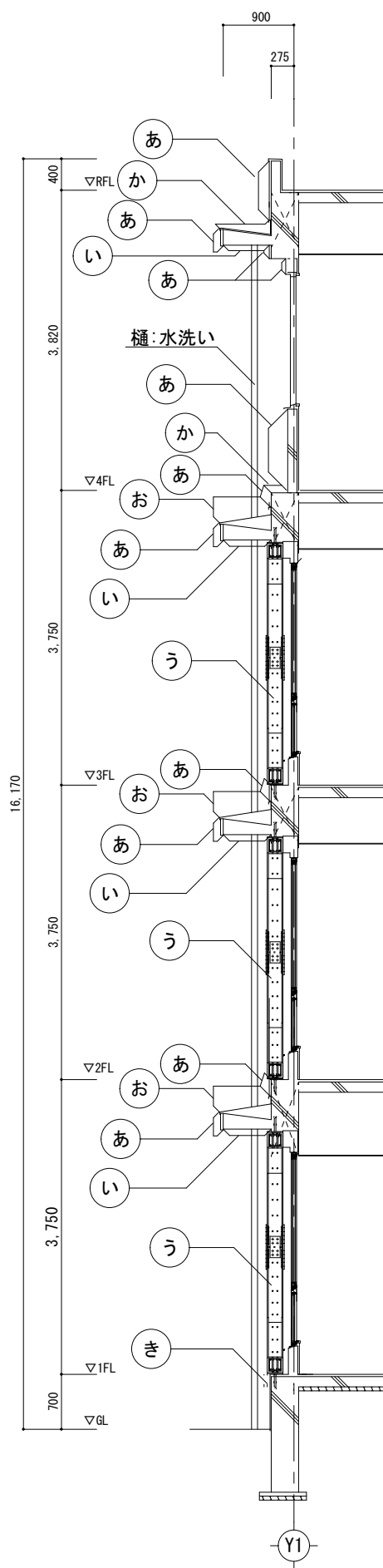
Ⓐ：外壁・軒裏全面
(斜線を除く)
縦樋：水洗い清掃のみ

東側立面図 S=1/150

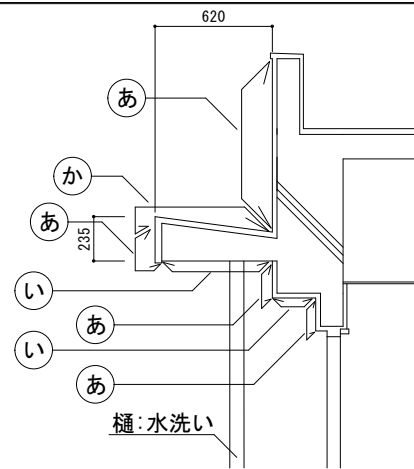
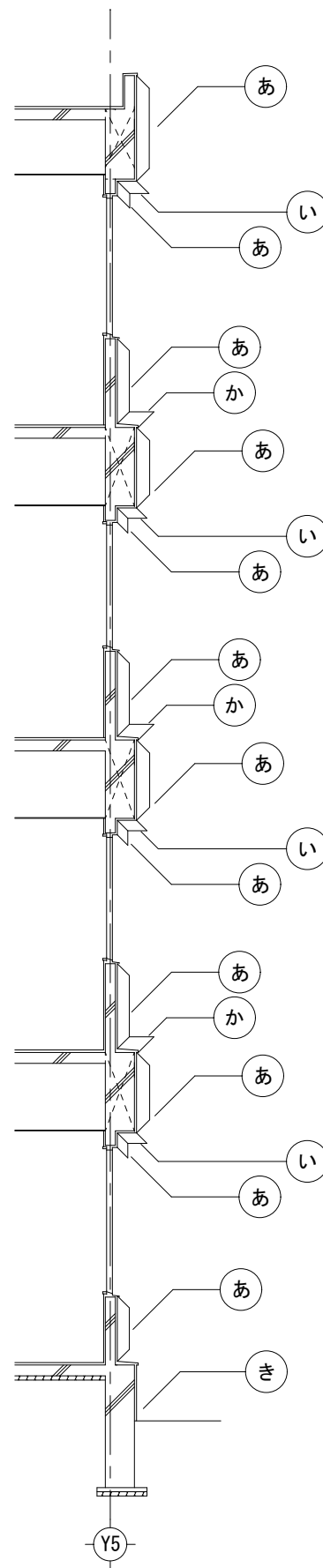
Ⓐ：外壁・軒裏全面
(斜線を除く)

凡例・共通事項	
凡例	仕上げ
Ⓐ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 改修 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り ■部:外壁複合改修工法(F工法)施工範囲
Ⓑ	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装 改修 耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)
Ⓒ	既存 外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 改修 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
Ⓓ	既存 縦樋:VPφ○ 改修 既存撤去(金具共)の上 ｶﾞｰVPφ○取付(SUS金具共)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建具周囲・水切端部:変成シリコン系シーリング(MS-2)15×15打替 ・ 既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP) [対象]設備配管・換気口・カザカパァー・電気BOX・建具(両面・小口・枠共)・その他監督員が指示するもの ・ 基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。 	

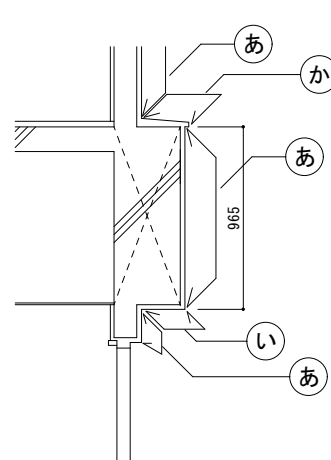
工事名称	福山市立風中学校A棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称	立面図	尺度 S = 1/150
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	10
	A2=71%	12
	A3=50%	



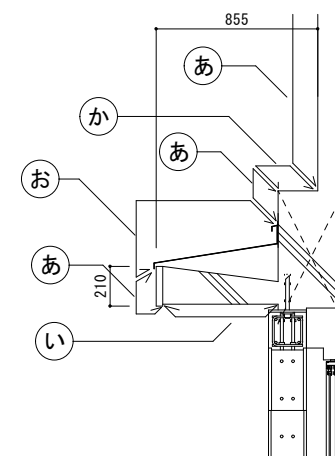
矩計図 S=1/40



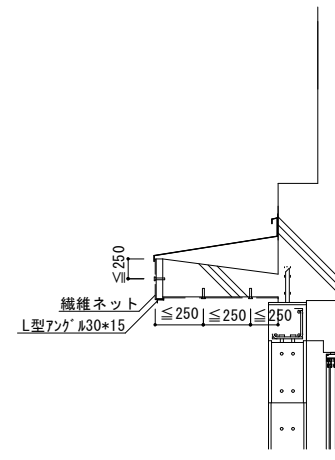
大庇詳細図 S=1/20



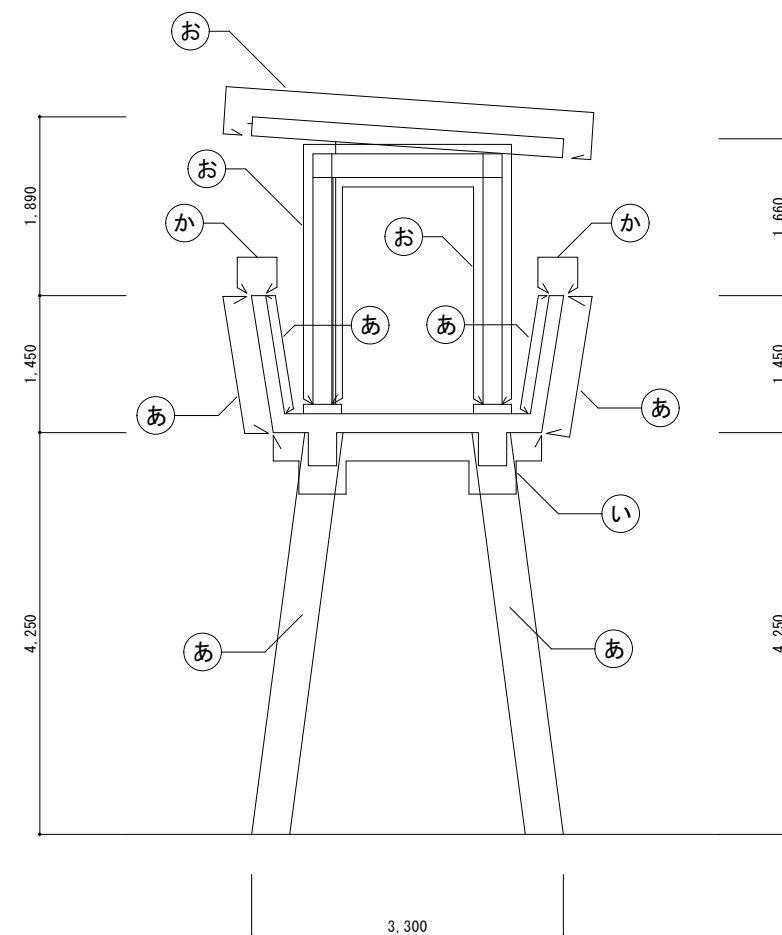
梁型詳細図 S=1/20



庇詳細図 S=1/20



F工法詳細図 S=1/20

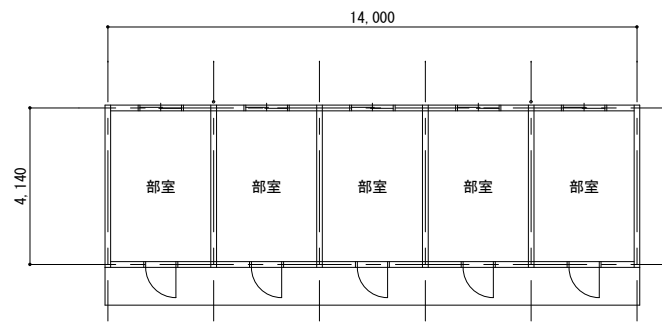


渡り廊下1断面図 S=1/40

符号	仕上げ	符号	仕上げ
あ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	き	既存 幅木:モルタル金コテ押え
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り	改修	水洗い
い	既存 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	く	既存 縦樋: VPφ100
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り	改修	既存撤去(釜具共)の上 ｶﾞｰVPφ100取付(SUS金具共)
う	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装	け	既存 シート防水(平場)
改修	耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り(上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	改修	水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上、シート防水(S-M2 t=1.5)
え	既存 外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付	こ	既存 シート防水(立上り・溝部)
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り	改修	既存防水層撤去、ケレン・清掃、水洗い、下地調整の上 シート防水(S-F2 t=2.0)
お	既存 鉄部:塗装仕上げ		
改修	下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)		
か	既存 防水モルタル塗り		
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整の上 ｸﾞﾗﾝｺﾞﾙ系塗膜防水(X-2)		

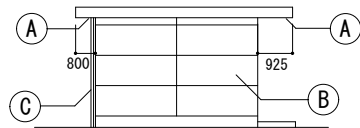
※水洗いの水圧力15MPa[N/mm²]程度とする。

部室棟1

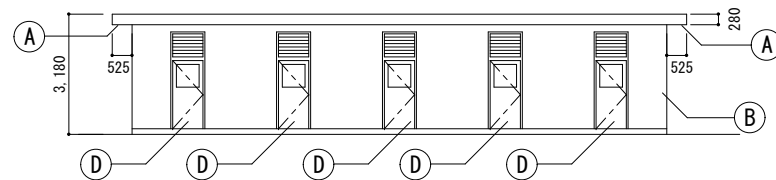


平面図 S=1/100

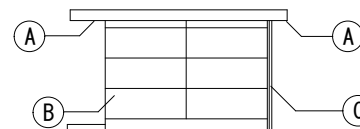
改修内容	
Ⓐ	軒裏:外壁改修の上、外装薄塗材E塗り
Ⓑ	外壁:水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り
Ⓒ	縦樋:φ75取替
Ⓓ	鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装



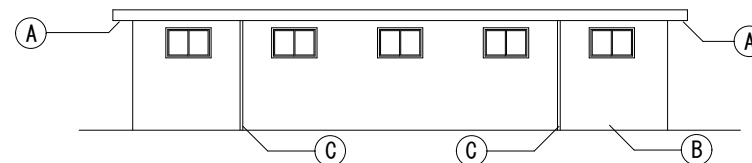
北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

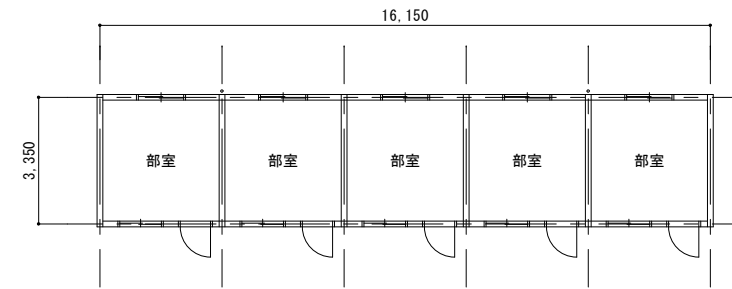


南側立面図 S=1/100



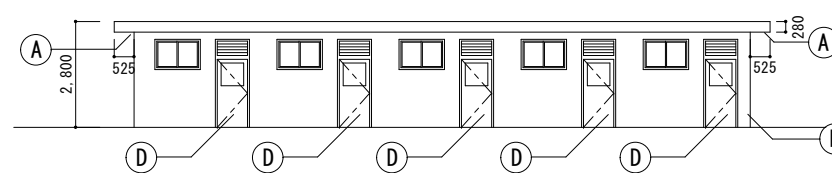
東側立面図 S=1/100

部室棟2

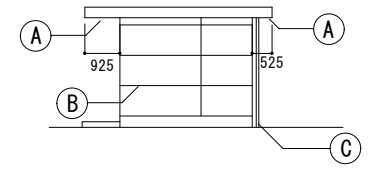


平面図 S=1/100

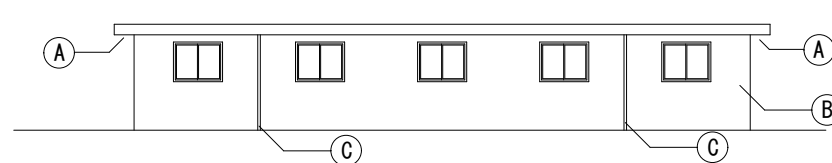
改修内容	
Ⓐ	軒裏:外壁改修の上、外装薄塗材E塗り
Ⓑ	外壁:水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り
Ⓒ	縦樋:φ75取替
Ⓓ	鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装



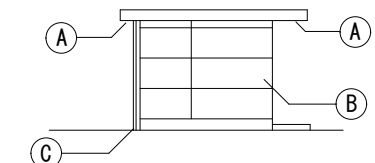
北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

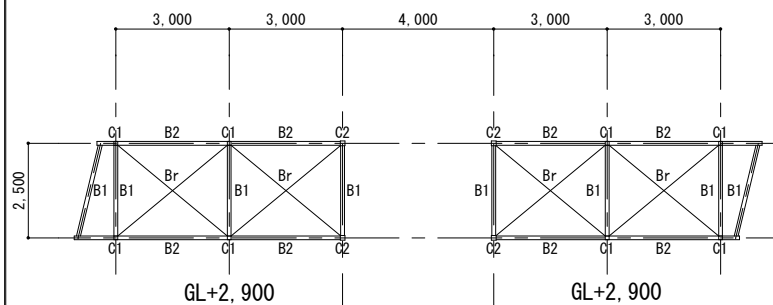


南側立面図 S=1/100

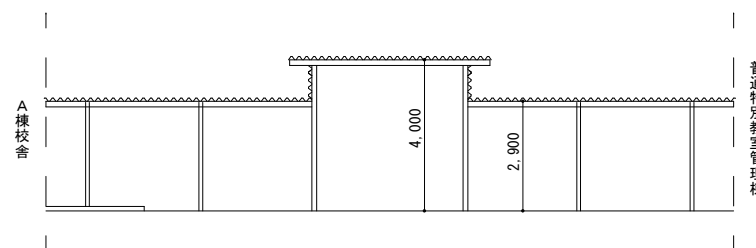


東側立面図 S=1/100

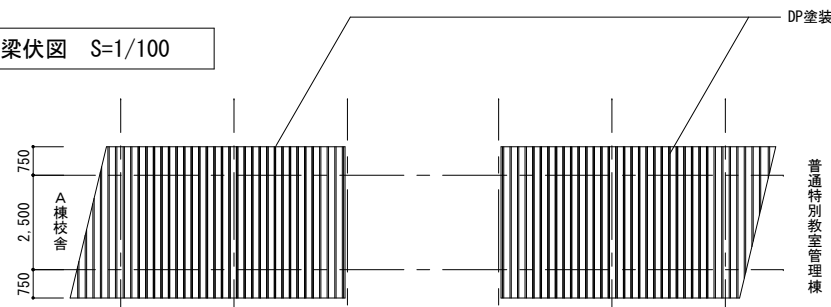
渡り廊下2



梁伏図 S=1/100



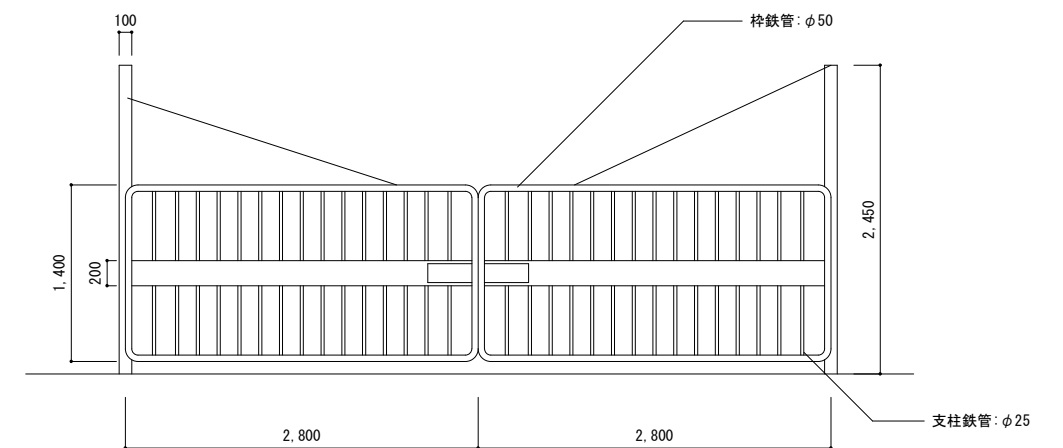
立面図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100

改修内容	
下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装	
記号	部材リスト
C1	□-100*100*4.5
C2	□-125*125*4.5
B1	H-100*100*6*8
B2	H-148*100*6*9
Br	M-16(ターンバックル締め)
屋根	カー鋼製折版 山高88

門扉



姿図 S=1/30

改修内容	
下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装	

工事名称	福山市立風中学校A棟校舎外壁塗装改修工事		
図面名称	附属棟(部室棟1、部室棟2、渡り廊下2、門扉)	尺度	S = 1/30 1/100
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	A1=100%	図面No
	A2= 71%	12	12
	A3= 50%		

参考数量書

§ 工事名称 福山市立鳳中学校A棟校舎外壁塗装改修工事

§ 工事場所 福山市伊勢丘六丁目5番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立鳳中学校A棟校舎外壁塗装改修工事

工事場所 福山市伊勢丘六丁目5番1号

【工事概要】

防水改修、外壁改修、塗装改修

対象建物 A棟校舎

鉄筋コンクリート造 4階建
延べ面積 1,351㎡

渡り廊下1
鉄筋コンクリート造・鉄骨造 2階建
延べ面積 144㎡

渡り廊下2
鉄骨造 平家建
延べ面積 43㎡

部室棟1
コンクリートブロック造 平家建
延べ面積 58㎡

部室棟2
コンクリートブロック造 平家建
延べ面積 54㎡

門扉

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

A棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		226	m ²			
開口養生		395	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		226	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	60.6	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	60.6	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 150日	1,856	m ²			
くさび緊結式足場	150日 底部 フラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	945	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	105	m			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	1,856	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 150日	203	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	2	か所			
計						

A棟校舎		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	1,386	㎡			
A-2 モルタル面表面劣化処理		24.4	㎡			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	6.4	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		14.8	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25㎡以上	1.5	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	46.9	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 指定部(25カ所/㎡)	12.4	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	25.9	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	0.1	㎡			
F 外壁複合改修	ピンネット工法	21	㎡			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	20	m			
計						

